

2021年度助成と2022年度事業計画の決定等について(お知らせ)

公益財団法人中国電力技術研究財団(理事長 清水 希茂)は、主に中国地域における電気エネルギーの供給、利用及びこれに関連する基礎的な技術の研究者に助成しております。このたび「2021年度助成」と「2022年度事業計画」が決定しましたのでお知らせします。

1991年の財団設立以来(31年間)の助成総計は、1,617件・約12億5千万円になりました。今後も豊かな地域社会の実現と我が国産業の進展に貢献できるよう、努力してまいります。

1. 2021年度助成および2022年度助成計画

2021年度は、応募件数44件の中から24件、総額2,180万円の助成を決定しました。今年度の試験研究助成対象者は、大学、高等専門学校 of 研究者16名です。

2022年度は、助成総額を2,190万円として募集します。

助成項目	2021年度の助成決定(注1)		2022年度の助成計画(注2)	
	件数	金額	件数	金額
1. 試験研究助成				
(1) 試験研究A(一般)	14件	1,975万円	13件程度	1,860万円
(2) 試験研究B(主に高専)	2件	95万円	3件程度	130万円
※2. 国際交流活動ほかの助成				
(1) 国際会議等の開催	2件	25万円	15件程度	200万円
(2) 海外渡航	0件	0万円		
(3) 研究発表会等の開催	6件	85万円		
合計	24件	2,180万円	31件程度	2,190万円
(注3)	(31件)	(2,180万円)		

※「国際会議等の開催」・「海外渡航」・「研究発表会等の開催」については年2回の募集を実施しており、既に上期において「国際会議等の開催」1件・10万円、「研究発表会等の開催」3件・40万円の助成を決定(2021.7.6)している。(上記の件数・金額を含む。)

(注1)・2021年度に助成金を贈呈する試験研究は、2022~2023年度に実施するものです。

(注2)・2022年度の助成の詳細については、4月初旬に財団ホームページ等でお知らせします。

(注3)・2021年度の当初計画

2. 優秀な研究に対する表彰

2020年度に終了した研究の中から、特に優れた以下の4名(研究)を選定しました。2022年度に入り、表彰を行う予定です。

(敬称略)

優秀研究賞	山口大学 大学院創成科学研究科 綱島 亮 准教授 研究題目「メタルフリーな強誘電体におけるキュリー温度を制御する化学的製法の開発」
	大阪電気通信大学 工学部 濱田 俊之 准教授 (宇部工業高等専門学校在籍時に助成を受けて研究を終了) 研究題目「太陽光発電設備の焼損故障防止技術及び設備内アーク検知技術の開発」

研究奨励賞	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 荻 崇 教授 研究題目「次世代電池材料に向けた カーボン/SiO _x ナノコンポジット微粒子の開発」
	鳥取大学 工学部 辻 悦司 准教授 研究題目「次世代エネルギー貯蔵技術を実現する 高活性・高耐久性酸素発生触媒系の開発」

〈添付資料〉 別紙1 2021年度 試験研究助成一覧表
 別紙2 2022年度 助成計画
 別紙3 公益財団法人中国電力技術研究財団の概要

〈報道資料の問い合わせ先〉

公益財団法人中国電力技術研究財団 事務局長 千崎義彦 082-546-2581

以 上

2021年度 試験研究助成一覧表

1. 試験研究 - A

助成対象：大学、高等専門学校等一般の研究者・14名

(氏名・50音順)

研究題目	氏名	所属・役職	助成金額
広い空間での安定したワイヤレス給電を実現する複数送電器の開発	石原 将貴	岡山大学 学術研究院 自然科学学域 助教 博士(工学)	150万円
花崗岩流域における大量アンサンブル気候予測データを用いた土砂流出量の将来予測	井上 卓也	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 准教授 博士(工学)	100万円
非正弦波電流波形による同期電動機の低トルクリプル・高トルク密度駆動技術の開発	梅谷 和弘	岡山大学 学術研究院 自然科学学域 准教授 博士(工学)	135万円
N面AlNベース高電子移動度トランジスタの実用化	岡田 成仁	山口大学 大学院創成科学研究科 准教授 博士(工学)	150万円
放射性廃棄物処分における人口バリア構成材料のベントナイトの吸水・膨潤特性に及ぼす温度の影響に関する熱力学モデルの開発	佐藤 治夫	岡山大学 学術研究院 自然科学学域 産業創生工学専攻 准教授 博士(工学)	168万円
金属有機構造体を正極活物質として活用した非リチウムイオン系二次電池の開発	清水 剛志	米子工業高等専門学校 総合工学科 化学・バイオ部門 特命助教 博士(理学)	120万円
複合金属ケイ酸塩中空粒子を組織化した低誘電率・低エネルギー損失基板の開発	通阪 栄一	山口大学 大学院創成科学研究科 化学系専攻 准教授 博士(工学)	168万円
電界カーテン付き太陽電池パネルの発電実証実験	西村 亮	鳥取大学 工学部 電気情報系学科 准教授 博士(工学)	145万円
中国電力送電線に流れる地磁気誘導電流と地磁気嵐の定量関係	橋本久美子	吉備国際大学 農学部 醸造学科 教授 博士(理学)	84万円
電気化学的な炭素-ヘテロ原子結合形成による機能性分子合成と機能解明	光藤 耕一	岡山大学 学術研究院 自然科学学域 応用化学専攻 准教授 博士(工学)	150万円
分光学的手法による、高効率な金属クラスター光電変換材料の探索	村松 悟	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 基礎化学プログラム 助教 博士(理学)	150万円
厚肉シェル要素を用いた変動荷重が作用するシェル構造物の安全性評価に関する研究	山本 剛大	広島大学 大学院先進理工系科学研究科 助教 博士(工学)	135万円
減圧法によるメタンハイドレート生産中に生じる出砂メカニズムの解明	吉本 憲正	山口大学 大学院創成科学研究科 工学系学域社会建設工学分野 准教授 博士(工学)	130万円

(試験研究 - Aのつづき)

研究題目	氏名	所属・役職	助成金額
集水域内の土砂生産時空間分布及び粒径別輸送過程に基づくダム貯水池堆砂モデルの構築	和田 孝志	鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科 助教 博士 (農学)	190 万円
試験研究-A 計 (14名)			1,975 万円

2. 試験研究 - B

助成対象：主として高等専門学校の研究者・2名

(氏名・50音順)

研究題目	氏名	所属・役職	助成金額
全固体二次電池創製を志向した電池材料開発	谷藤 尚貴	米子工業高等専門学校 総合工学科 化学バイオ部門 准教授 博士 (学術)	45 万円
木炭蓄電器の低コスト化と太陽電池を利用したオフグリッド電源の試作	福間 眞澄	松江工業高等専門学校 電気情報工学科 教授 博士 (工学)	50 万円
試験研究-B 計 (2名)			95 万円
試験研究助成 合計 (16名)			2,070 万円

2022年度 助成計画

中国地域の研究者を対象とした電気エネルギー関連技術に関する試験研究助成、研究発表するための海外渡航費用の助成、ならびに中国地域で開催される国際会議、研究発表会等の開催費用を助成します。

助 成 項 目		件数	金額	募 集 期 間
試験研究-A	(a) 一般の研究者を対象 (b) 1件当たり最高助成額 200万円、研究期間1年 または2年	13件 程度	1,860万円	2022年8月1日～ 2022年10月31日
試験研究-B	(a) 主として高等専門学校の 研究者を対象 (b) 1件当たり最高助成額 50万円、研究期間1年	3件 程度	130万円	
国際交流活動	国際会議等開催	15件 程度	200万円	○第1回目募集 2022年4月20日～ 2022年6月10日 (2022年8月～ 2023年7月に実施するもの)
	海外渡航 (大学院博士後期課程の方も 対象)			○第2回目募集 2022年10月1日～ 2022年12月20日 (2023年4月～ 2024年3月に実施するもの)
研究発表会等開催				
合 計		31件 程度	2,190万円	—

・助成の詳細については、4月初旬に財団ホームページ等でお知らせします。

公益財団法人中国電力技術研究財団の概要

1. 目的

主として中国地域における電気エネルギーの供給、利用及びこれに関連する基礎的な技術（以下「電気エネルギー関連技術」という。）に関する試験研究に対する助成及び国際交流の促進に関する事業を行うことにより、電気エネルギー関連技術の健全な発展を図り、豊かな地域社会の実現と我が国産業の進展に寄与することを目的としています。

2. 設立

1991年4月 財団法人設立

2010年7月 公益財団法人へ移行

3. 基本財産

20億円

4. 主な事業内容

(1) 電気エネルギー関連技術に関する助成事業

(a) 試験研究助成

(b) 国際会議等開催助成

(c) 海外渡航助成

(d) 研究発表会等開催助成

(e) 産業振興に関する調査・研究助成

(2) 電気エネルギー関連技術に関するシンポジウム・講演会等の開催

(3) 前号各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

5. 助成の募集方法等

募集方法は、公募制です。

本財団の選考委員会の審査を経て、決定いたします。

以 上